

「和歌山市中心市街地再生研究会」終了報告

研究会主査 足立 基浩
和歌山大学経済学部教授

ミニ東京を目指した時代は過ぎ、これからの地方都市で求められるのは中心市街地の個性化への支援策であろう。具体的には街並み整備の支援や河川の浄化、そして、土地問題への踏み込みである。商店街地区の土地は個人資産だが、一方で観光客の誘客が可能な「街の顔」という面を有している。強すぎる個人の土地所有権を少し緩和し、私的財産から市民が守る土地への工夫、そのための税制の工夫などの支援が求められる。つまり、都市の公共性を地域住民だけでなく、「外部から来る人」、「これから住む次の世代、若者」まで配慮してまちづくりができるか、が問われているのである。

こうした問題意識のもと、平成 22 年度の中心市街地再生研究会はこれまでの研究会に加えて、当会メンバーの尽力で作成した中心市街地の観光マップを動画サイトで解説するという「わかやま散策隊」企画をスタートさせた。

これは、和歌山地域経済研究機構のマップを基礎としながら民間会社の協力のもと和歌山大学の学生が、実際に歩き、取材し、その紹介ドキュメントを動画サイト（You Tube）で発信するというものである。魅力が少なく見えた中心市街地に意外にも多くの知られざるスポットを見つけることができた。

わかやま散策マップ（レトロめぐりコース）



今後は特に大阪南部などの大都市からこの場所に来ていただく作業が必要であるが、この点については、大手のテレビ局が特集を組んでこの事業を紹介していただくことができ

た（毎日放送、「ちちんぷいぷい」、2011 年 2 月 11 日）。

和歌山の試みが関西全域に知られた結果、和歌山の中心市街地のその周辺観光がいまは
わずかだが増えてきている。

今後も、長崎市で 2006 年に実施されたまちあるき体験博覧会「さるく博」のような形
で和歌山を PR できたらと思う。

【メンバー】

| | | |
|----|--------|-----------------------------------|
| 主査 | 足立 基浩 | 和歌山大学経済学部教授 |
| | 大門 忠志 | 財団法人和歌山社会経済研究所研究部長 |
| | 藤代 正樹 | 財団法人和歌山社会経済研究所主任研究員 |
| | 萬羽 昭夫 | 財団法人和歌山社会経済研究所研究部長(～2010 年 9 月末) |
| | 鈴木 孝明 | 財団法人和歌山社会経済研究所主任研究員(～2010 年 6 月末) |
| | 畑 光穂 | 和歌山商工会議所企画・街づくり支援室長 |
| | 大泉 英次 | 和歌山大学経済学部教授 |
| | 山田 良治 | 和歌山大学観光学部教授 |
| | 堀田 祐三子 | 和歌山大学観光学部准教授 |
| | 山本 敦子 | 和歌山大学経済学部助教 |

(注: メンバーの所属・肩書については平成 22 年度時点)

【研究会・活動】

研究会を 7 回開催(動画完成お披露目会を含む)。

わかやま散策隊の活動として、動画撮影ロケハン、ロケ、動画編集等を実施。

【研究成果】

- 研究成果 No.22 「わかやま散策マップ」(平成 23 年 3 月発行)
- レトロめぐりコース動画による紹介

<http://www.eco.wakayama-u.ac.jp/wtkkk/kengai-t10.html>